

保護者会報

発行 者 ● 日本体育大学東京都保護者会
お問 合せ先 ● nssu.apg.tokyo@gmail.com
タイ トルロ グ ● 越水 春汀

保護者会役員になって良かったこと

卒業生
保護者の声

- ① 小学校教諭に全集中! (小学校教諭)
- ② 就活回り道 (自衛官)
- ③ 人助けの仕事に憧れて (東京消防庁)

学修・キャリア支援部門のQ&A

コロナ禍での就職活動

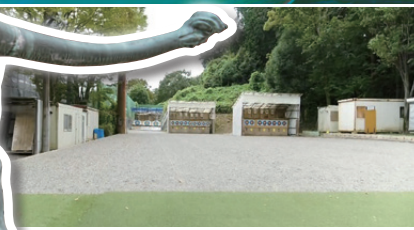
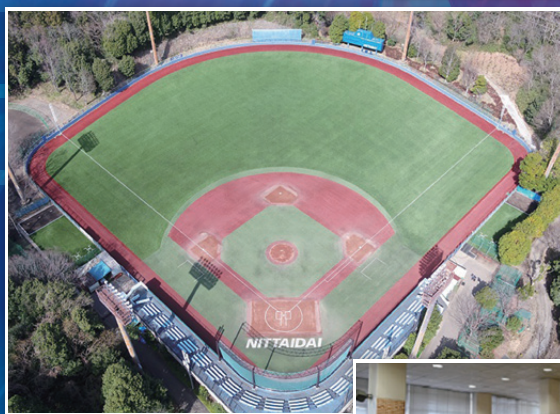
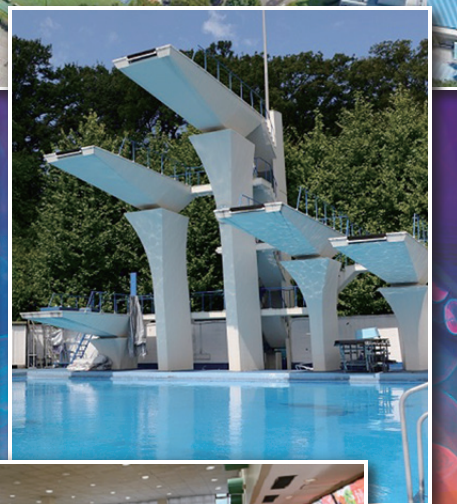
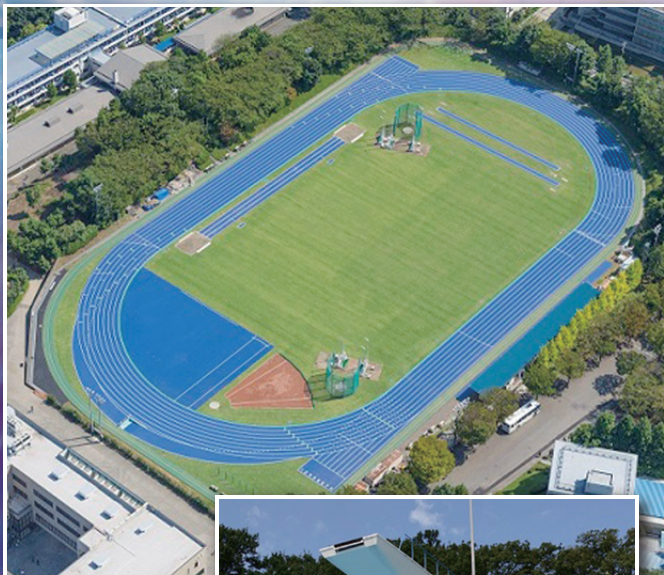
東京都保護者会役員アンケート

箱根駅伝

寮生活の様子

部活紹介

- ① ゴルフ部
- ② 弓道部
- ③ 硬式野球部
- ④ ラグビー部
- ⑤ 体操部



理事長挨拶

日体大で何をするのか



学校法人日本体育大学 理事長
松浪 健四郎

新型コロナウイルスが、わが国をも席捲しようとしている時、私は東邦大の大森病院で悪性リンパ腫の治療を受けていた。やや強い抗がん剤のため、頭の毛は無惨にも散った。卒業式も入学式も中止、検温、消毒、マスク着用であれば、ウイルスに対抗できるとの理解が進みつつあるが、当時はひたすら脅えるばかりだった。卒業生には、本当に申し訳なく思うばかりか、最後の激励の言葉を贈ることができず残念でならなかった。

2021年は、日体大創立130周年である。コロナ禍によって、あらゆる企画、行事が影をひそめ、多くの人たちに参集を願うことはクラスターの心配から難しくなっている。先輩たちが堂々と歴史を織り続けてくれた結果、今日のブランド力のある日体大へと発展できたのだと述懐する。5学部にて7,300人、大学院3研究科にて200人の集う「身体にまつわる文化と科学の総合大学」に転じることができた。また、体育科学のオピニオンリーダー大学として、日本初の私立大としては珍しい高等支援学校を北海道網走市に創立し、卒業生を輩出するに至った。共生社会の先取りと、日体大生が支援学校教員免許の取得が可能となった。大いなる社会貢献を果たしている。

大学の教育方針の1つに「国際化」がある。このグローバル社会で、日体大生がいかに生き抜くか、大きなテーマだ。8年前から国際協力機構（JICA）と提携し、日体大生を毎年、発展途上国へ派遣していただき、体育やスポーツを指導している。このプログラムは、日体大生を国際人に昇華させてくれるばかりか、異国文化を理解して就職分野を拡張してくれている。また、卒業後、青年海外協力隊員として2年間、世界中へ飛び回り、ボランティア活動を展開中だ。一昨年から派遣者数が大学で1位、立命館大、東農大を抜いた。

学内にはグローバル・カフェがあり、そこで外国人講師と英会話を楽しめるようにしている。国際交流センターでは、さまざまなプログラムを準備していて、英語力を高める工夫がなされている。協定を締結している諸外国の大学へも容易に留学ができるようになっている。やる気のある学生を応援するシステムが完成しているのだから、積極的に取り組んで欲しい

いと願うばかりである。ちなみに、青年海外協力隊員を経験すると、教員採用試験の1次（学科）を免除する都道府県・市が増えてきた。この恩恵を利用すべきであろう。

大学は、中高校と異なり、本人が自主的に諸問題と取り組むようになっている。有意義に学園生活を送れるかどうかは、本人の意志次第である。この4年間をどうするか、日体大の強みをいかに利用するか、本人が考え行動せねばならない場であることを理解しておかねばならない。明確なのは、世間の人たちは、日体大生は集団という組織の中で存在感を示す能力を保持し、強靱な体力と意志を保持していると決めつけていることだ。だから、何らかの集団、クラブに入って活動しておく必要がある。日体大の魅力と特徴は、その1点につきる。アルバイトだけの学生生活では、日体大生の誇れる魅力を身につけることができない。

私は日体大に入ってレスリングを始めた。柔道部では試合にも出してもらえないと思ったので転向したのだ。日体大には多くのクラブがある。高校になかったスポーツの部も多い。そのような部に入って活躍するのもおもしろい。私は転向して良かったと思っている。

就職問題は、できるだけ早く意識をもって情報を入手、研究する必要がある。資格の取得も大切である。学生支援センターに出入りして、自分の人間性に合致した職業を選択すべきだ。広い知識をもち、未来を予想して、満足できる職場に身を置いて活躍して欲しいと思う。IT、AIの時代である。機器を自由自在に操作できる力量も不可欠だ。自身で努力するしかない。新聞を読み、読書好きでなければならない。人の能力、実力は、己が自分でつけるものだと自覚しておくべきである。

最後に、保護者の皆さんにお願いしておきます。コロナ禍の影響で薬物に手を出す学生が増加しています。興味本位で手を染めると言われています。交通事故も多発しています。詐欺事件に巻き込まれる学生もいます。わが息子、娘に少しでも異変を感じたなら注意して下さい。将来のある日体大生を私どもも護り抜きますが、ご協力をお願い申し上げます。

部門長挨拶

学生支援センター学修・キャリア支援部門長

須永 美歌子

東京都保護者会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本学の教育・運営に格別のご高配を賜り有難うございます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて今までに経験したことのない年度となりました。授業はオンラインが中心となり、部活動も各部が制定したガイドラインに則って活動を行っております。就職活動においてもオンラインでの選考が中心となり、公務員の採用試験は延期となる自治体が増えました。教育実習も後学期に日程が後倒しになるケースが増えております。学生で溢れていた当り前のキャンパスが、当り前でなくなりました。

教職センターでは、コロナ禍でも教員採用試験合格を目指す学生の学びの場を維持する為、大手出版社と共同で本学学生に特化した動画視聴型の教員採用試験対策講座や自宅で受験できる模擬試験を随時実施しております。

実践的指導力の養成を目標に掲げて今年度で6年目を迎える「日体教学舎」は、その実績が高く評価され、横浜市教育委員会と本学が提携し、横浜市教育委員会が実施している「よこはま教師塾『アイ・カレッジ』」を本学学生の為に、教学舎内に設置することができました。

また、元学校教員・校長経験者を中心とした教職センター学習支援員による教員希望者相談ブースを設置し、学生のニーズに合わせた学習支援を行っております。

こうした成果もあり、今夏に行われた教員採用試験については、11月6日時点の速報値で、30名以上の在学学生、卒業生から合格報告を受けています。

企業就職に関しましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、採用人数削減、採用時期早期化、採用オンライン化など、企業の採用活動が大きく変化しています。

日本経済新聞社による10月の採用状況調査によると主要企業の大卒内定者が昨年比11.4%減ったと報道がありました。また来年度の採用に関しても不透明で、約4割の企業の採用方針が決まっていないとありました。

上記に対して本学では全ての面談（進路相談、模擬面接、

書類添削等）を4月からオンラインに切り替えました。また3月に行われる予定だった学内合同企業説明会を新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から7月に延期し、オンラインで行い3日間にかけて38社、延べ約400人の学生が参加しました。この参加者の中には下学年生も含まれ、例年以上に企業就職に対する危機感が増しているように感じております。3年生に対する就職ガイダンス、インターンシップガイダンスもオンラインで前学期に行い、また後学期のキャリア講座は全てオンラインにて行っております。

公務員対策講座も全てオンラインに切り替えました。オンラインにすることで、いつでも視聴することができるというメリットを学生に享受できているのではないかと感じております。

この新型コロナウイルス感染症の影響で一層、「インターンシップから採用」という流れが加速していくと見ています。企業はインターンシップを通じて学生を選考し、早期に必要な採用数を確保していく。その流れに乗れないと、いざ就職活動を始めようと思った時には既に採用を終えているというケースも出てくるかも知れません。

何度もこの場を通じて保護者の皆様にはお願いをしておりますが、進路を考え始める時期に早すぎるということはありません。1、2年生の時から積極的に学生支援センターや教職センターを利用してもらいたいと考えています。

学生支援センターのキャリアカウンセラー資格を所持する教職員、教職センター学習支援員の支援を受け、行動してみること、話してみることで新しい発見があるかもしれません。是非、ご子息・ご令嬢に『学生支援センターや教職センターに相談してみることをお話いただけますと幸いです。

最後となりますが、私たちは学生の応援団として、一人ひとりにあった支援をしまいたします。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

会長挨拶

東京都保護者会の皆様へ

日本体育大学東京都保護者会 会長

松浦 正吾

東京都保護者会の皆様におかれましては、益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本会の活動に対して深い理解と多くのご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度日本体育大学東京都保護者会会長を務めさせていただいております松浦と申します。宜しく願いいたします。

昨年度より続く新型コロナウイルスによる影響で、今年度は大幅な制限のある中で活動を進めております。例年であれば、キャンパス見学会に始まり各種大学イベントへの参加、広報誌の作成及び発行、定期総会の開催といった流れで活動が進められていきますが、今年度は新たな試みを保護者会役員の皆様とアイデアを出し合いながら進めて参りました。

今回の広報誌の内容もその一つです。今回の新型コロナウイルスにより学生達の学校生活や就活にどの様な影響があったのか学修・キャリア支援部門の方へ質問させていただいたり、就活も保護者の方から伺った話で記事にしていたり、例年とは違った形で掲載させていただいております。東京都保護者会会員の皆様にも少しでも興味を持っていただける内容となっていれば幸いです。また、2021年度の東京都保護者会総会は新型コロナウイルスによる社会状況次第ではありますが、例年通り講演会も含めた形で開催できるよう準備を進めています。是非多くの方にご参加いただき、東京都保護者会の活動を知っていただきたいと思っています。

少々自分の話をさせていただきますが、世間一般の方々が、大学生にもなって保護者会とはなんなんだろうと思っ
ていらっしやると思います。実際私もそう思っておりました。息子が1年生の時は、何も参加しておらず、2年生になった年の総会で初めて東京都保護者会の開催したイベントに参加し、学修・キャリア支援部門の方のお話や講演会等普段子どもとの会話からは得られない大事な情報を聞くことができました。また、イベントをスムーズに進行するためにたくさん役員さん達が動いていることに大変感銘を受けました。日頃の役員会での何気ない会話の中で、4年生になるまで

は留年がないことも先輩役員の方に教えていただいたと記憶しています。

いろいろ教えていただいた情報の中で特に役に立ったのは、NSSU Passportで、息子の出席及び成績情報を確認できるようになったことです。この情報は、とても有意義であったといまでも感謝しています。もう子どもではないと思っ
ていても、楽な方へいきたくなる気持ちもわかりますので、随時チェックし、早めに注意をすることができ、相互にメリットがあったと思っています。

役員会に参加するにあたって、どの役員の方も少しでも子ども達の役に立つことができるのならと思っ
て参加されていると思います。その活動の中で、大学の各種イベントに参加させていただき、普段目にするの
ない学生達の頑張る姿を見せていただき、胸が熱くなることも多々ありました。それを体験できただけでも、今では役員会に参加してとても良かったと思うようになっております。

学生の学校生活においてもオンライン授業が恒常化し、学年によってはクラスメイトと会えることも少なかったと聞いております。実技授業もオンラインとのことで、体を動かすことを楽しみにしていた学生にしてみると残念だったかもしれません。当時1年生だった息子から、1日体育の授業って体力の限界に挑戦みたいなものだよと笑いながら聞いたことが懐かしく思いました。

そうはいつても、新型コロナウイルスがあったから何もできないではなく、少しでも学生達の為にと努力していただいた大学関係者の皆様には大変感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。

最後に日本体育大学の益々の発展と東京都保護者の皆様・学生の皆さんの躍進を願って挨拶とさせていただきます。

皆様には益々ご健勝のことと存じます。平素より同窓会活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私は、前任の瀧澤康二会長のもとで、2期6年間、幹事長として同窓会運営に携わり、今年度会長職を拝命しました。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの脅威が世界を覆う中、私たちはかつて経験したことのない日常を送ることになりました。皆様もご子息・ご息女、ご家族の健康を案じながら、不安な毎日をお過ごしのことと拝察します。

そうした中、昨年11月15日に「令和2年度 入学歓迎式」が東京・世田谷キャンパスで挙行されました。晴れの舞台を新型コロナに奪われた新入生のために、万全の防疫策を講じて開催されたものです。

祝辞の冒頭、松浪健四郎理事長は渾身の激励をする中で、生まれも育ちも世田谷区新町、深沢小中高出身というピュアな女子学生と、野球一筋の九州男児との出会いと恋、若き日の苦闘のエピソードを紹介されました。母校での縁がその後の運命を切り開き、二人三脚で鹿児島の子どもたち

に心血を注ぎ、甲子園出場を果たした日体夫婦の物語でした（詳細はYouTubeにて公開されていますので、大学ホームページをご覧ください）。

在学生を代表して歓迎の言葉を述べたのは、スポーツ文学部 武道教育学科2年の阿部 詩さん。画家パブロ・ピカソの「できると思えばできる、できないと思えばできない。これは、ゆるぎない絶対的な法則である」との名言を引き、自らの決意の言葉に後輩への励ましのメッセージを添えました。

過日、24分間にわたるライバルとの死闘を制した兄・阿部一二三選手とともに、金メダルへの新たな挑戦が始まりましたが、東京オリンピック・パラリンピックには多くの現役学生やOBOGが出場予定です。どうぞ温かい声援をお送りくださるようお願いします。

末筆ではございますが、困ったこと等がありましたら、微力ながらお役に立ちたいと存じます。遠慮なくご相談くださるようお願い申し上げます、会報に寄せる言葉といたします。

東京都保護者会の皆様へ

余寒の候、ますますご清栄のことと存じます。平素より東京都保護者会の皆様におかれましては、ご支援、ご協力を賜り心より感謝しております。

2020年度、保護者会と共催の総会の講演会は、コロナ禍の中で残念ながら中止となりました。しかし、2021年度は、共催にむけ準備して行きますので改めてご協力お願い申し上げます。

さて、東京都同窓会活動の主な目的は、(1)会員相互の親睦、(2)母校の発展に寄与等です。今年度は、コロナ禍の中で唯一1年を通して、教育支援委員会が講習会を実施することができました。具体的には、出身地に関係なく教員採用試験を受験する学生に参加を呼びかけ実施しました。教育実習の指導と2次対策研修は、大学、教職センターに協力しました。

また、次年度においては、教員採用試験対策、企業で活躍する同窓を講師に招き研修会を開催することを計画しています。保護者会の方々とも連携を取り、ご子息・ご息女にも情報を共有していただき、一人でも多く参加していただけますと幸いです。

さらに、定期的に事業や活動の情報提供のためにホーム

ページを立ち上げています。今後は、組織をあげて平成史の作成に取り組み、その中で会員名簿の整理等、同窓の情報収集も行ないます。今までの人的財産を活かし、記録する新たな事業にしたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

そして、このような活動から、同窓会に新たな人材として参加してくれることを望んでいます。

最後に、コロナ禍の中で多くの困難がまだ予想される状況であります。大学と連携し保護者会に協力をいただき、これからも学生を全力で支援いたします。今後とも保護者会の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

日本体育大学東京都同窓会ホームページ

<https://nittai-doso-tokyo.jimdo.com/>



会長挨拶

日本体育大学保護者会 会長 貝塚 昌通

本部保護者会を代表致しましてご挨拶申し上げます。

日差しの明るさに春の気配を感じるようになりました。東京都保護者会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本会の活動に対し、深いご理解と多くのご協力を賜り誠にありがとうございます。

昭和54年に設立致しました本会も46都府県と道央、道東の2支部を合わせた全国に支部を有しました。東京都は本年度の日体大全在学生7,239名の約24%にあたる1,744名の学生が在籍し、全国で一番多い都市であると同時に保護者数も全国一番であります。5学部9学科の設置が本学に完了し、社会の幅広い分野で活躍できる人材を輩出する総合大学(University)となったことで、全ての日体大生に保護者会として充実した支援が可能となりました。東京都保護者会に於かれましては松浦正吾会長を中心に役員・会員が一致協力して運営を執り行っていただきましたこと、心から感謝申し上げます。

縁あってこの日体大にご息子が入学し、日体大生の保護者として子供を見守ることになった訳ですが、この素晴らしい学び舎で豊富な知識とこれからの長い人生を乗り切るた

めのタフな身体と精神力を培い、社会に船出する準備をしています。他大学では決して経験することのできない、かけがえのない体験を今必死に頑張っているからこそ、私達保護者も今できる精一杯の応援をしていきましょう。

未だ終息根絶の目途が立たないコロナ禍ではありますが、延期となった東京オリ・パラを一番近くで体感できる東京都保護者会の皆様こそメインサポーターと言えるでしょう。スポーツを通じ親も子も一体となって日体大ファミリーを応援して頂ければと思います。

保護者会活動を自粛せざる負えない状況が続いておりますが、学生への支援は今後も一層の協議を重ね、できる限りの学生生活をサポートするべく保護者会活動を推進して参ります。

最後になりましたが、日本体育大学東京都保護者会の益々の発展と会員の皆様のご健康と学生の皆さんの健やかな成長を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

※ 文中の学生数は、2020年12月2日現在の保護者会名簿によります。

保護者会役員になって良かったこと

望月 玲子 (4年保護者)

中学・高校時代の体育教師、バスケットボール部の恩師の姿にあこがれ「体育の先生になりたい」という夢を持ち日体大への進学を決めました。

私自身、保護者会役員に参加させていただき、大学の情報や就職・進学、その他いろいろな情報を得ることが出来ました。

保護者会役員会に通い、様々な出会いや交流もあり私も、娘と共に大学生活を送れたことはとても幸せで、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後の東京都保護者会の活躍を心より願っております。4年間ありがとうございました。

保護者会ふりかえり

中江 康之 (3年保護者)

2020年春先から、新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大した影響は、東京都保護者会の活動にも大きな影響を及ぼしました。2020年度総会は、保護者会皆さまのご協力により文書決議ですすめられましたが、キャンパス見学会は、残念ながら中止せざるを得ませんでした。

東京都保護者会の役員会合は、大学からのご指導、ガイドラインの下、安全面に細心の注意を払いつつ制限した活動をいたしました。数少ない活動機会ではありましたが、改

めて対面でのコミュニケーション、キズナを大切に感じる事ができました。引き続き、保護者会の目的「大学と保護者の間にあって、学生の健全なる育成を旨とし、会員の相互理解を深めその増進を図ること。」を進められるよう、皆さまからのご協力をお願いするところでございます。会報が発行される2021年3月には、明るい見通しとなっていることを祈るばかりです。

卒業生保護者の声

小学校教諭に全集中!

水野 美弥子

小2から始めたサッカー、高2の時にはサッカー部仲間と、サッカーコーチを目指し日体の体育学部受験を決めました。ある日監督に「おまえは小学校の先生に向いてる」と鶴の一声、急遽、学部を児スポに変更、息子は日体生になりました。大学サッカーとの両立は難しく3年時には、小学校のボランティアに励む毎日、養成塾を経て小学校教諭に。就任1年目は2年生担任。とにかく日体大生は重宝がられ、水泳指導、朝の全校体操、運動会、臨海学校付き添い、タ

グラグビー指導、先生がたの学校対抗サッカー大会、バレーボール大会。父兄からは地域の祭りやバーベキュー参加の声がかかり、心配したモンスターペアレンツは0。今年は1年生担任で児童が可愛くてしかたない様子。25才で結婚すると豪語してましたが、今や恋人は児童たちと、親戚中に申しており親としては嬉しいやら悲しいやら。ただ毎日楽しく忙しく全集中な息子が幸せそうに見える毎日です。

就活回り道

塚本 茂美

息子の就活は、実に紆余曲折でした。警視庁を志し、大学主催の公務員試験対策セミナーを経て受験、面接での失言が後の人生を変えました。2年間の猶予期間を与え、医療事務の仕事と並行して警視庁を受け、途中自衛官に興味を持ち、就活先を変更、防衛省の説明会で声を掛けて頂いた自衛隊地本の方の指導を受けつつ自衛官候補生に受かり、北海道の地を踏みました。昨今TV番組で報道されている通りの厳しい訓練と座学を経て、半年後陸士となりました。警視庁での失敗、患者さんとのふれ合いの中で、多くを学び血肉とし訓練に耐えた事と思います。4月の入隊式で慣れない制服姿が、9月の修了式ではすっかり馴染み、修了生総代で答辞を読む姿に、息子の回り道も無駄ではなかったと、感慨深かったです。



人助けの仕事に憧れて

村上 浩

我が娘は、保健医療学部救急医療学科に在籍、昨年3月卒業しました。4月からは念願だった東京消防庁に入庁しております。

小さな頃より“人助けの仕事がしたい”と言っておりましたが、高校生の頃には救急救命士に憧れ、日体大に進学しました。

4年になり公務員試験を受験するのですが、まずは試験慣れのために警察官採用試験を受け、その後、消防官採用試験に臨むのです。東京消防庁は、採用人数も多いため毎年2回の採用試験が行われますが、その分受験者数も多く、1回目の受験での採用倍率は10倍程度、2回目では20倍を超えるものとなり、大学入試より狭き門です。日体大からも保健医療学部生だけではなく、他学部生も多く受験しており、毎年数名の消防官が生まれております。

娘は、幸運にも1回目の受験で採用を決めることができました。一般の学生であれば就職も決まり、あとは卒業を待

つところなのですが、最後の関門である国家試験が待ち構えております。しかも受験時期は3月であり、卒業式の前週なのです。救急救命士を始め看護師や柔道整復師などの医療系の国家試験は全てこの時期となります。国家資格が無くても消防官にはなれますが、救急救命士になるには必要不可欠な資格であるため、秋口くらいから正月もなく、卒業旅行も行かずに試験勉強をしておりました。

入庁後は、例年ですと消防学校にて半年間の寮生活による研修が行われます。しかし、今年度はコロナ禍により1ヶ月の在宅研修後、学校での研修が始まりました。寮からの外出ばかりか家族との接触も制限された状況で研修を終了し、10月より消防署へ配属となりました。全てが異例尽くして始まった社会人生活ですが、今は消防士として出勤要請に応じ、早期に救急救命士として救急車に乗れる様、訓練に励んでおります。

学修・キャリア支援部門のQ&A

01 就活を始める適切な時期はいつですか？

2021年卒以降の就活ルールを経団連が廃止しましたが、22年卒（現2年生）に関しても先日、政府より広報活動は3年生の3月から、選考は6月からと就活ルールが維持されることになりました。しかし企業の採用活動が早期化しており、3年生の夏期インターンシップが早期選考に進むステップになっていたりと、1月頃より採用説明会が行われたりしているため、就職活動を3月から始めるのでは遅い風潮になっています。

学生の状態や状況により適切な時期は異なりますが、遅くても3月までには、希望する業界や企業を絞る必要があると思います。そのために、夏期・冬期インターンシップに参加し、学内のガイダンスや講座を利用して、準備を進めることが大切です。

02 オンラインでの面接練習の進め方について

予約制でオンラインツール「Zoom」を利用し1人45分程度の模擬面接を実施しています。

入退室や姿勢に関しては実際には確認できないため、注意点をまとめた動画を制作し、学生がいつでも視聴できるようにしています。それ以外の質疑に関してはオンラインでも本番同様にできています。最近は1次面接をオンラインで行う企業が多いと聞いているので、今のうちにオンラインでの面接練習に慣れておくことが良い準備に繋がると考えています。

03 会社説明会が中止の場合の情報の集め方

対面式の会社説明会が中止となっても、オンラインでの会社説明会を実施している企業が増えています。例えば、マイナビTVではLIVE配信や録画配信などのコンテンツがあり、対面式の会社説明会より時間の制約がないため、学生一人ひとりのスケジュールに合わせた就職活動を行うことができます。

少しずつですが対面での会社説明会の機会も戻ってきております。

04 コロナ禍での就職活動の様子

緊急事態宣言発令後、採用が中断したり、航空業界や旅行業界、飲食業界など、業界によっては中止したりすることがありました。緊急事態宣言解除後は多くの企業が対面やオンラインでの説明会や面接を実施しています。そのため、学生は、オンライン説明会、オンライン面接を経験した学生が多く、最終面接で初めて対面式の面接を受ける学生も見受けられました。

採用が一時中断したこともあり、採用活動を継続している企業が多く、9月～10月に日体大求人検索サイト（キャリアタスUC）に届いた4年生向け求人は約2,000件となっています。

また来年度に関しても採用方針が決まっていない企業が35.6%あり、22年度に採用環境が戻るかは不透明です。早めの準備を学生には促しています。

05 コロナ禍でも順調に就職活動ができた例とできなかった例

〔できた例〕

オンライン説明会やオンライン面接に順応し、順調に就職活動ができた学生が多いと感じています。またインターシップなど早期に動いていた学生は順調に就職活動を終えている印象です。

〔できなかった例〕

採用試験が中止となった航空業界、旅行業界などに絞って就職活動を行っていた学生は、本来であれば就職活動が終了している5、6月頃から志望業界を変更することとなりました。そのため、自己分析や企業研究をやり直す学生も見受けられました。

06 学生支援センターの利用度はどれくらいですか？

学修・キャリア支援部門でのキャリア相談件数は、1度だけ利用する学生もいれば、複数回利用する学生もいるため、年度により異なりますが、過去3年間の平均は年間1,830件です。

07 予約なしでも相談にいけるのでしょうか？

オンラインになってからは基本的には予約制となりました。キャリアカウンセラー資格を有する職員等がオンラインツール「Zoom」を利用し1人45分程度でキャリア相談、書類添削、模擬面接などを実施しています。4月までは対面で予約なしでも相談ができる環境でしたので、コロナウイルスの感染リスクが軽減した段階で、元に戻すことも考えます。

08 日本体育大学卒業後の進路のPRを高校の入学志願者にはどれくらいされていますか？

大学HP、大学案内だけでなく、進学説明会やオープンキャンパス等で卒業後の進路について情報公開しています。

09 各学年それぞれにガイダンスは行っていますか？

各学年それぞれには実施していません。しかし、毎年3年生を対象としたガイダンスや講座を実施し、1、2年生の参加も可としており、毎年下学年の参加者が見受けられます。今年度は、オンラインでガイダンス・講座を実施し、後日、録画したものを全学生に配信しています。

10 企業を招いた企業説明会を学内でされていますか？

毎年3月に約100社が参加する学内合同企業説明会を実施しています。今年はコロナウイルス感染予防を考慮して3月の開催を中止し、7月にオンラインにて開催しました。今年度は、企業の採用活動早期化に伴い、1月にオンラインで実施する予定です。就職活動の早期化を在学生に意識させることが狙いでもあります。企業側の参加意欲も高く、1月に参加を希望する企業も多数います。現在1月、3月、7月と開催機会を増やし、学生の各々のタイミングで参加できるようにしたいと考えております。

コロナ禍での就職活動

平井 扶美子 (4年保護者)

前例のない就職活動、新型コロナウイルスの感染拡大によって、2020年度卒業の大学生にとっての就職や企業側の採用活動は、これまでに経験したことのない展開となりました。人が密集する合同会社説明会などのイベントは早々に中止となり、オンラインによる説明会が実施されるようになったり、企業も採用活動が困難になった上、コロナ禍で業績の行き先が不透明となり採用を中止する企業も出たようです。新卒採用は、いろいろと変化し不安な学生も多くいたと思います。4年生の保護者として息子や娘の就職活動を身近で見ている、どう感じ、どのように決まったなど、大学生のコロナ禍での活動として親の思い、学生の思いなど数名ではありますが感想をいただき、まとめてみました。



息子は3年生の1月頃から就職している先輩に相談して、いろいろな企業を紹介していただいたそうです。

6社位の企業を決めて、初めは対面面接も出来たが自粛期間中は自宅でスーツを着てリモート面接をしていました。四次面接までしていた会社もあり、最終的には4社の内定をいただき、7月頃にその中から1社に決めました。いろいろな企業を知ることが出来て多くの方と出会い良い経験だったと言っていました。

(体育学部社会体育学科 男子の母)



一般企業に就職決まりました。

3年生の11月から就活をスタートし、3月には内定をいただいたようです。あまりコロナによる影響は受けていません。

うちはたまたま部活の先輩がエージェントをしていて、その方についてもらって、就職活動をしたそうです。その方いろいろな相談にもっていただき、場合によっては面接を受けた会社とコンタクトをとっていただき、どこがよかった、悪かったというのを教えてくれたのは次の面接へのフィードバックになるので大変助かったと言っていました。

(体育学部社会体育学科 男子の父)



部活も参加しながら3年生夏からインターンに参加し始めました。最初は大手希望でしたが自分の特性を活かせる企業に変わりました。友達とSPI勉強チームを作り、コロナ自粛期間中は毎日のようにキャリア支援センターの面接練習を受けました。適切なアドバイスを頂いていたそうです。SPIに合格した企業の内、6月位からストップしていた面接が始まり7月には内定を頂きました。(体育学部健康学科 男子の母)

東京都の教員採用試験は7月に一次(筆記)、8月と9月に二次(面接・集団討論、実技)がありました。二次に向けて大学での対策講座があり、特に面接・集団討論対策は繰り返し行っていたように思います。コロナの影響で講座が急遽中止になったこともありましたが、友人と助け合って自主的に練習をしたりして乗り切っていました。同じ志を持った仲間がたくさんいて、一緒に頑張れたことが何よりも心強かったようです。

(体育学部体育学科 男子の母)



コロナ禍で合同企業説明会が中止になり、7月の教員採用試験が終わってから本格的に就職活動を始めました。オンラインでの説明会、SPIテストを受け、面接でした。スタートが遅かったので心配しましたが内定をいただき、ホッとしました。

(児童スポーツ教育学部 女子の母)



「希望の職業につきたい!」誰もが望むことです。コロナ禍の現在、新入社員の募集がありません。会社説明会の開催も無く、どんな企業があり、どんな仕事があるのか? その情報を得ることも困難です。それでも、社会の一員として世の中に貢献できる人間力を、今までの人生で学び、さらに日本体育大学で培われてきたはず。それを信じて見守るだけです。

混迷の時代だからこそ、どのような大学生活を過ごしてきたかで、行く先が変わることでしょう。あなたの人生、大切にしたい。(体育学部社会体育学科 女子の母)



私はこの自粛期間中の中での就職活動対策として、情報の獲得を常に意識を高く行い続けました。学校であれば、同期や先生方、沢山の人の情報から情報を獲得することができるがこのコロナ禍においては、その情報を自らインターネットや実際にOB、OGの方々に連絡を入れ、就職活動に励みました。

(スポーツ文化学部武道教育学部 男子学生)



以上数名の保護者や学生から見た大学生の就職活動でした。この様に変な時も迷いながら自分で決めた仕事や将来の道を進んで行くが就職してからが大変だと思います。

日本体育大学の学生は強い力と心を持っていると信じています。ご指導して下さった先生方、先輩、キャリア支援センターの方には感謝し、一緒に頑張った仲間達に明るい未来がありますように、親としてこれからも心から応援し続けたいと思います。



<テレビ中継画面の撮影写真を使用。日本テレビ許諾済>

まず今年の大会が開催出来た事の嬉しさと携わって頂いた関係各位の皆様へ感謝申し上げます。選手の皆は走るだけではなくそれぞれ各自の想い、チームの想いを沢山背負って10区間のそれぞれの物語が始まり最終的に10人で襷を繋ぎ物事が完結します。昨年、10月の予選会は昭和記念公園を回るコースから新型コロナウイルス感染拡大防止策として陸上自衛隊立川駐屯地の周回コースで開催されました。

各校上位10名の合計タイムで争われる為、一斉にスタートして自分がゴールしても最後の最後まで安心することが出来ない中での選手達の精神状態ですが見事予選6位を勝ち取り箱根駅伝の出場権を獲得しました。

第97回箱根駅伝の往路が2日 東京読売新聞社前から箱根芦ノ湖までの全5区間107.5キロのコースで行われました。

往復の217.1キロは皇居ランで43周、選手達の平均時速は20キロと自転車よりも速いスピードで駆け抜けていきます。しかしながら今年はコロナ禍の中、関東学生陸上競技連盟より

コース沿道での応援自粛を呼びかけられている大会です。

スタートはスローペースで始まりました。藤本君は先頭グループに身を置き好走致しました。2区池田君の走りも3位争いを繰り広げていた際には力が入りっ放しでした。

往路は総合10位から96秒差で15位です。シード権争いに十分名乗りをあげられる位置で復路に期待出来る結果です。

3日 箱根芦ノ湖から東京読売新聞社前までの全5区間109.6キロのコースです。

往路優勝タイムから8分30秒後に時差スタートした我が日体大チームは健闘しましたがシード権獲得ならず10位より4分35秒差の14位となりました。

コロナ禍の為、十分な練習も出来なかった。しかしモチベーションを切らさず新体制の玉城監督の元で望んだ大会であった。10人で繋いだ襷同様に来年に繋がる大会であった事は選手達が一番肌で感じている事でしょう。

寮生活の様子

横川 英恵 (2年保護者)

世田谷キャンパスの近くには、深沢寮と和泉寮があります。それぞれの寮生にインタビューをしたので、ご紹介します。

深沢寮

- 男子約200人が生活しています。
- 起床は6時30分。 ● 朝食は、6時30分から8時。
- 昼食は、11時30分から13時30分。 ● 夜食は18時から24時。
- 入浴は17時から24時。 ● 門限は22時。 ● 部屋割りは、4人ひと部屋。

沢山の友達が出来て、一緒に生活する事で仲良くなれ、協調性も身に付きます。

日体大伝統の一つである『エッサッサ』は後期授業が始まると共に練習がスタートします。朝5時30分から6時30分まで体育館での練習は大変だけど、体育研究発表実演会で演じた時は、質実剛健を身体動作で表現する事が出来て、達成感がありました。

和泉寮

- 女子約250人が生活しています。
- 起床は6時30分。 ● 朝食は6時35分から9時30分。
- 昼食は11時30分から14時。 ● 夜食は17時45分から23時。
- 入浴は6時30分から9時30分と16時から23時。 ● 門限は22時。

部屋割りは、2人ひと部屋で1年生と3年生。2年生と4年生の組合せで、部活・出身地が被らないようになっています。

寮で生活する事で、様々な部活の人と仲良くなれ刺激も貰えます。先輩とも親しくなれて、勉強や大学生活の事など教えてくれます。時間に追われる生活だが、アスリートとして時間の

管理はとても大切な事だなと思えます。

困る事は、点呼が22時なのが、ちょっと早いかなど感じる。また、外泊や帰省する時、消印の付いた専用のハガキが必要でその申請が少し手間がかかるので、気軽に外泊や帰省ができない。

和泉寮生は『エッサッサ』で使用する白はちまきを縫う事が慣例となっています。「部活で疲れてるのに、お裁縫?」と思った事もあるが、深沢寮生が早朝から日体大の伝統を引き継ぎ練習している姿に感動して、ひと針ひと針丁寧に針を動かしながら、エールを送りました。



和泉寮2020年クリスマスメニュー

親としては、

衛生的な環境と、規律正しい生活、先輩方との交流、自分の事は、自分で行なってる姿を見ると、親元を離れ寮で生活する事で、成長を感じました。

【お断り】

記載内容は例年のものです。今年度については新型コロナウイルスによる行事中止の影響や感染対策のためのタイムスケジュールの変更がございます。

ゴルフ部

小山 暢子 (4年保護者)

「どうしよう、ゴルフ部に入部した…」と入学式から数日後の不安そうな顔を思い出します。一通りのスポーツを経験してき



た娘が特に結果を残してきたのはテニスで、大学でも続けるのだろうと思っていたのに、ゴルフ部?!

娘の世代はゴールデンエイジと呼ばれプロゴルファーには注目される女子選手が多くいる世代で、現に日体大ゴルフ部には河本結さんがいます。

基礎を習ったことがあり、何度かコースでプレイしたことがある程度で4年間続けられるのか? 不安とともにスタートしましたが、顧問の先生のご指導やチームメイトに恵まれ、朝5時に起きての登校朝練、合宿、キャディーのアルバイト等を通じて、ゴルフの技量のみならず、体力、精神力、社会人としての立ち振る舞い等の基礎が身に付きました。

そして何より、楽しく前向きに活動できた4年間であったことを心から感謝しています。

弓道部

島田 敦史 (2年保護者)

小さい頃から娘は活発で小学校の時には競泳、ラグビー、ソフトボール等、中学・高校では陸上部に在籍しており、日体大に進学しても激しいスポーツをするかと思っていましたが、弓道部に決めた時には驚きました。

しかし、弓道部は新鮮で毎日楽しんでいるよう見受けられます。本人からは、先輩や後輩の仲が良く皆が上を目指して練



習に励んでいて、部活後は自主練習をする人も多い様です。昼食は男女問わず楽しく食べたりしていると聞いており嬉しく思うこともあります。2年になってもっと楽しい活動になると思っていましたが、コロナの影響でほとんど練習が出来ない状態が続いていました。後期からは何とか練習も始まりましたが、道場に入れる人数を決め毎日検温記録をしているとの事、試合についてはリモートで実施しています。

新学期に新入生の募集も出来ない状況で1年生が少ないと聞いています。興味のある方は日本体育大学弓道部Twitterへ連絡をお願いします。

硬式野球部

小川 照美 (4年保護者)

先ずは2020年度首都大学秋季リーグ戦優勝、誠におめでとうございます。

日本体育大学硬式野球部は首都大学野球連盟1部リーグに加盟しています。他には東海大学、筑波大学、帝京大学、武蔵大学、桜美林大学が加盟し優勝を目指していました。

<試合結果>

9月19日 武蔵大学戦4-0で勝利。9月20日 帝京大学戦2-0で勝利。10月3日 東海大学戦4-2で勝利。10月4日 桜美林大学戦8-0で勝利。10月18日 筑波大学戦1-2で敗戦。

【5試合4勝1敗 勝率0.800 ポイント13】5季ぶり24回目の優勝が決まりました。11月9日から開幕します「第16回関東地区大学野球選手権大会」に首都大学野球連盟第1代表として出場が決定しました。



息子が1年生の2017年に明治神宮野球大会に優勝し大学日本一となり、とても強い硬式野球部に感動したのを覚えています。そして、4年生になり最後のリーグ戦優勝は親としても喜びが込み上げてきました。新型コロナウイルス感染防止の観点から応援も自粛、観戦者の登録制等その対応に当たられた方々は大変なご苦労があったと思います。無事に保護者が観戦できました事に感謝申し上げます。

リーグ戦が行われる球場は少し遠くて小旅行のようになりませんが、いつも期待で一杯になりながら球場に向かっていました。今後も、とても力強い日本体育大学硬式野球部の快進撃を願っております。



ラグビー部

白鳥 康子 (3年保護者)

2020年10月4日、関東大学ラグビー対抗戦Aグループが開幕しました。日体大ラグビー部「UNICORNS」は、今年のスローガンに『奪取～dash～』を掲げ、大学選手権出場を目指します。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて、7試合中4試合が無観客試合となり、有料試合もソーシャルディスタンスを保ちつつ、マスクの着用、こまめな手洗いと手指の消毒、観戦中は席の移動禁止、声を出しての応援や周囲を扇動するような手拍子の禁止など、徹底したものでした。

観戦できる1試合目(第3節)は、10月18日 熊谷ラグビー場に於いて、早稲田大学と対戦でした。開始2分、早稲田大学の先制トライ。その後もトライを重ね、終わってみれば5対70という結果になりました。



観戦できる2試合目(第5節)は、11月7日 明治大学と対戦予定でしたが、陽性反応が出た為、出場を辞退し不戦敗となりました。

観戦できる3試合目(第7節)は最終戦です。12月6日熊谷ラグビー場に於いて筑波大学と対戦でした。この試合に勝って大学選手権出場へ…部員はもちろん監督コーチOB、保護者も同じ気持ちです。前半6対3で折り返すも、後半筑波大学に立て続けにトライされ、逆転負けとなってしまいました。結果、2勝5敗の6位となり、大学選手権出場は叶いませんでした。



選手達には悔しい思いを糧に前進してほしいと願っています。新しい年はコロナに負けず、グラウンドに流れる風や芝生の匂いを感じながら応援していきたいと思います。

選手達には悔しい思いを糧に前進してほしいと願っています。新しい年はコロナに負けず、グラウンドに流れる風や芝生の匂いを感じながら応援していきたいと思います。

体操部 演技発表会

森松 則子 (4年保護者)

1月9日(土)国立代々木競技場第2体育館にて、体操部の第52回演技発表会が行われました。年明け、新型コロナウイルス感染拡大により、2回目の緊急事態宣言が発令され、開催が決まったのも2日前の事です。観客も体操部関係者のみでしたが、700名程の方々にお集まりいただきました。

緊張しながらも満面の笑顔で登場したオープニングからスタートです。男子体操は臨場感に溢れ、女子体操は華麗な美しさを表現し、無音の中、お互いの呼吸のみで動く演技や会場が真っ暗になり、衣装にライトをつけての演技。体操部のOBたちによる「お～るど・ボーイズ」のキラのある演技には毎年驚かされます。マット運動では、バック転やバック宙の技の連発は圧巻です。就活スーツ姿の創作体操。合間には「みんなで体操」があり、会場の皆さんと体を動かしました。最後の演目



「One-Gym-mix2020～」は体操部全員が主役です。92名が心をひとつにした集団技。これぞ体操部。息の合った迫力のある演技に心を奪われてしまいます。部員の8割は大学に入学してから体操を始めた部員たちです。このような素晴らしい演技ができるのは、日頃の練習とたゆまない努力の賜物だと思います。

自粛期間はオンラインでの筋トレ練習。7月からは大学が使用できるようになり、対面練習と非対面練習で活動してきました。部長の三宅先生のお話の中で、今回開催できるかどうか不安な気持ちをもちながらも全員が諦めずに練習に取り組んでいたそうです。伝統ある体操部で4年間過ごしてきた事は誇りでもあり、今後のステップアップになっていると思います。ご指導いただいた先生方、先輩方には感謝しております。

今回の演技発表会の動画を3月頃にオンデマンドにて配信予定です。ぜひ日体大体操部の集大成をご覧くださいと思います。感動をありがとうございました。

東京都保護者会役員会アンケート

現役員さんに、いままで役員会活動をしてきてどうだったか、ここ数年間を通してのアンケートを取りました。

☆ 良かった事

- 大学を身近に感じられ、大学愛が深くなった。
- 沢山の保護者の方と知り合いになった事で、自分自身の世界が広がった。
- 他学年の方から、就職活動や仕事の話が聞けて参考になった。
- 役員の方と知り合い、学校(大学?)の情報や行事を教えてもらって、参加する事が出来た。
- 頑張ってるお子さんの様子を聞き「私も頑張ろう!」と刺激を貰える。
- 学年を問わず情報交換ができたり、学ぶ事が多かった。
- 相談できる、頼りになる先輩に出会えた。

☆ 楽しかった事

- 2020年の箱根駅伝の応援に行けた事はとても楽しかったです。大手町から箱根まで時間はタイトで走り回りながら移動するのはとても大変でしたが、生の雰囲気は最高でした。
- 「キャンパス見学会」などのイベントが成功した時、達成感・充実感を味わえた。
- 行事を頑張ったあとの打ち上げ。
- 休日にいろいろな所にバスツアーに行った事。
- ランチ会、忘年会、新年会、特に保護者会のイベントでカラオケに行った事。

☆ 困った事

- 特にありません。
- 最初は、依頼された内容がよく理解できなくて、どう進めたら良いかわからなかった事(当時の会長含め皆さんに相談したら快く教えてもらえました)。
- コロナ禍で、大学校内に入れなくなり、役員会が毎回違う施設を借りて行われたので、初めて行く場所がわからず、大変でした。

☆ 今後の役員会に期待する事

- 沢山の方に役員になって頂き、東京都保護者会を盛り上げてほしい。
- イベントや講演会を開催して、皆さんと共に学び成長したい。
- 五役さん始め皆さん一生懸命やってくださり、有り難いです。普段来られない人も参加しやすい雰囲気作りをお願いします。
- みんなで助け合って、ひとつのことを成し遂げて行くことを、今後も継続して行って欲しいです。
- 風通しのよい役員会を期待しています。
- 4年生は卒業しますが今後も役員会が盛り上って多くの方に役員になってもらい、楽しく運営ができるように期待しています。
- ボランティアでやっているのだから、みんなで協力して仲良く楽しい役員会、やってよかったと思える役員会になるといいと思います。

東京都保護者会では、役員を募集しております。
ご興味のある方は、下記アドレスまでご連絡ください。
保護者会メールアドレス ▶ nssu.apg.tokyo@gmail.com



2021年度 東京都保護者会総会・講演会のご案内

下記のとおり「2021年度 東京都保護者会総会」等の開催を予定しています。

本年度も、講演会及び本学の先生方を囲んだ懇親会を総会終了後に企画していますので、ぜひ、ご参加ください。

なお、講演会は、東京都同窓会との共催となりますが、東京都保護者会総会としての催しですので、講演会のみ参加及び東京都保護者会会員以外（同窓会会員を除く）の方の参加はご遠慮ください。

記

- 日時** 2021年 **6月19日** (土) 13時から (予定)
(受付は、12時30分からとなります。開会5分前には受付をお済ませください。)
- 場所** 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス (キャンパス内会場未定)
- 総会** 2020年度 活動・決算報告
2021年度 活動計画・予算案・役員選出等
- 講演会** 講演者未定
- 懇親会** 【会費】500円 ※ 当日受付でお支払いください。
【場所】1階 学生食堂 (終了予定時刻：17時)

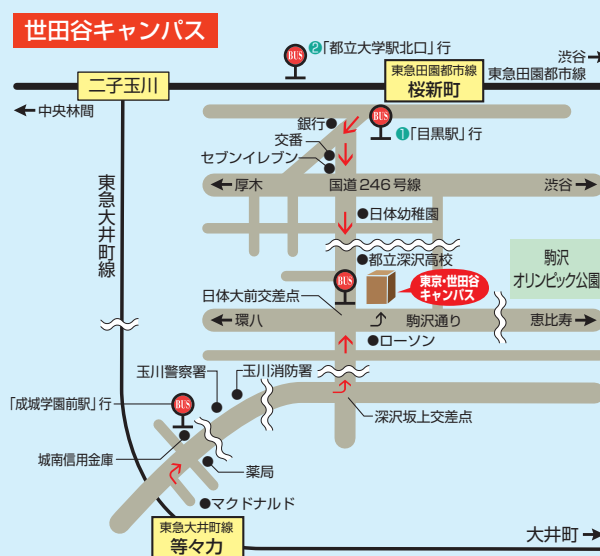
※1 詳細は、2021年5月中旬までに御案内はがきを送付予定です。

※2 【問合せ(メール)】
nssu.apg.tokyo@gmail.com

※3 会議室内はエアコンを使用します。
必要に応じて上着をご用意ください。

※4 駐車場の用意がございません。お車での来場はご遠慮ください。

☆当日は、役員が大学正門付近等で「日本体育大学 東京都保護者会」の“のぼり旗”を持ち、案内しております。遠慮なくお声掛けください。



編集後記

広報担当 清水 喜美

2020年は新型コロナウイルス感染症という目に見えない敵と向き合いながら誰もが経験したことのない日々を送る年になりました。東京都保護者会においても例年通りの活動が出来ず、この広報誌の構成も考え直さなければいけないことが多くありました。

(表紙は今年度のキャンパスツアーを行うはずであった健

志台キャンパスの施設です)

制限がある中で活動してきた今年度の役員会ですが議題の他に大学の情報、子供たちの様子を共有する事で人と人の繋がりをより一層感じることが出来ました。

最後になりますが広報誌発行にあたりご寄稿、ご協力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。